

学習参観が中止となったので紙上でお伝えします

*各クラスの授業は、週案等をご覧ください。



4年1組の様子

同じ時期に、全校で「道徳」の授業を行いました。9月の学習参観で公開する予定だったものです。校内研修を生かし、夏休み中から指導の構想を練り、「議論し合う」「価値観を広げる」「自分の思いをしっかりと書く」道徳を目指し、授業を行いました。

学校生活の安定化を重点とした学力向上のための講師 安倍 浩一先生

当校の職員が1名増えました。安倍 浩一（あんべひろかず）先生です。ご存じの方もいるかもしれません。特別支援学級や各学級の児童の学習支援が主な業務（T・T）となります。担任・担当が不在の時の、給食・清掃指導、委員会活動支援なども行います。よろしくお願いいたします。



【石川小学校：令和3年度 全国学力・学習状況調査について】

1 調査の結果(昨年度、この調査は実施しませんでした)

石川小6年の結果ですが、国語は全国平均をかなり上回りました。書く問題で無答率（書けなかった割合）が低く、諦めずに解こう（書こう）とする子が多かったことも分かりました。これが国語の好成績につながったとも言えます。今後の課題は算数（全国平均を若干下回りました）です。個人のデータも届いていますので、個に応じた指導に生かし、どの子にも確かな力を付けて各中学校に進学させたいと考えています。

2 子どもの質問紙から

「教科に対する思い」（好きか、大切だと思うか、内容はよく分かるか）や「技能」（活用しているか、話しているか、書いているか、学びを深めているか）は、全国に比べても高い数値となっています。「学校に行くのは楽しい」などの数値も高いです。ただ1つ全国に比べ極端に低かったのは「自分には良いところがあると思いますか」の質問項目（-11P）でした。いわゆる子どもの「自己肯定感を高める」（自信をつける）ことは「当校の」、また、「石川小学校区の家庭(地域)の」解決すべき課題の1つと言えます。

3 今後の対応

「教科が好きだ」「もっと学びたい」という思いは学力向上につながります。魅力的な授業（主体的・対話的で深い学び）になるように、「導入や授業展開」「問い・教材・教具」の工夫、ICT機器の効果的な活用（高学年の算数：デジタル教科書）など、全職員で進めていきます。さらに学校・家庭は、結果だけでなく、その子の努力や取り組み方を認め、励まし、評価することで、自己肯定感を高めていく必要があります。